

台風・豪雨時にそなえてハザードマップといっしょに「ひなん行動判定フロー」を確認しましょう

平時に確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

ひなん行動判定フロー

●あなたがとるべきひなん行動は？

必ず取組みましょう

ハザードマップ※で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※ハザードマップはしん水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色がぬられていますか？

いいえ

色がぬられていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどに住んでいる場合は、市区町村からのひなん情報を参考に必要な時は、ひなんしてください。

はい

災害の危険があるので、自宅ではなく安全な場所へのひなんが必要※です。

例外

※しん水の危険があっても、
①こうずいにより家屋がたおれり、くずれたりしてしまうおそれがない区域である
②しん水する深さよりも高いところにいる
③しん水しても水がひくまでがまんできる、水・食料などのそなえが十分にある場合は自宅に残り安全確保することも可能です。
※土砂災害の危険があっても、十分がんじょうなマンション等の上の階に住んでいる場合は自宅に残り安全確保することも可能です。

自分またはいっしょにひなんする方はひなんに時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいてお世話になることができるしんせきや知り合いの人はいますか？

はい

いいえ

けいかいレベル3が出たら、安全なしんせきや知り合いの家にひなんしましょう(日ごろから相談しておきましょう)

けいかいレベル3が出たら、市区町村が指定している指定緊急ひなん場所にひなんしましょう

安全な場所に住んでいてお世話になることができるしんせきや知り合いの人はいますか？

はい

いいえ

けいかいレベル4が出たら、安全なしんせきや知り合いの家にひなんしましょう(日ごろから相談しておきましょう)

けいかいレベル4が出たら、市区町村が指定している指定緊急ひなん場所にひなんしましょう